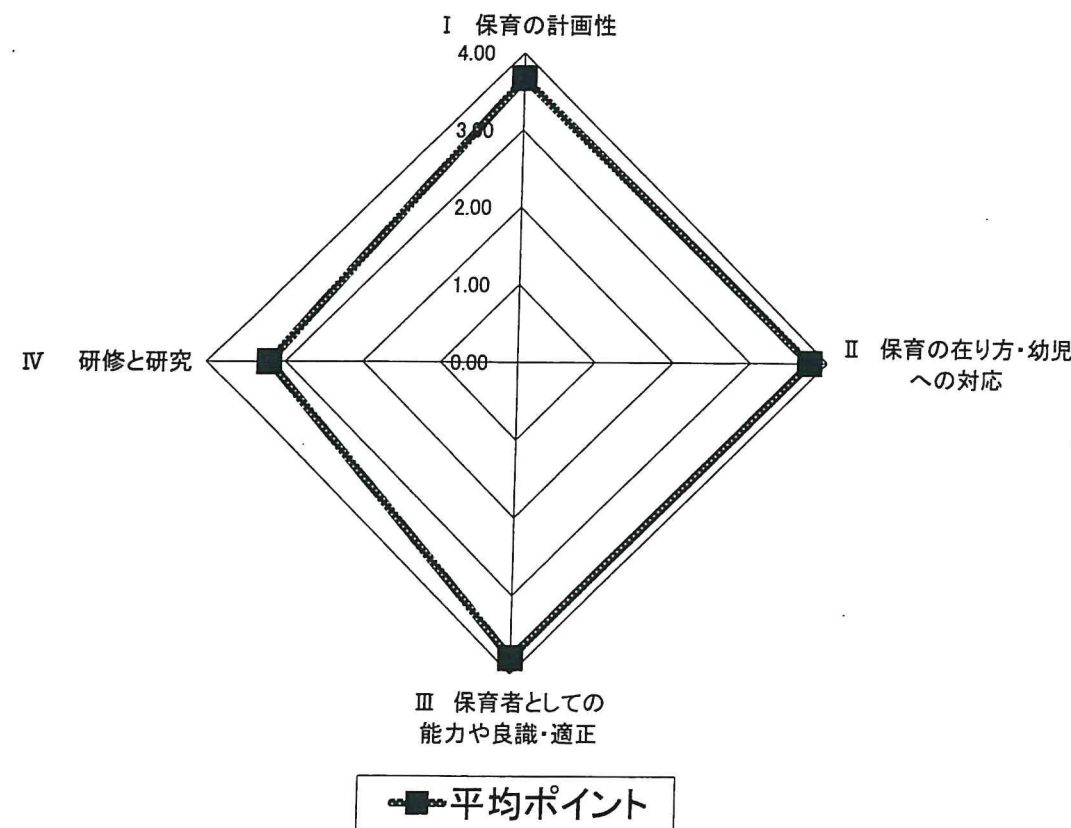


自己点検(教職員編) 分析表

桜ヶ丘 幼稚園 職名 教諭 平均

カテゴリー名	平均ポイント
I 保育の計画性	3.67
II 保育の在り方・幼児への対応	3.77
III 保育者としての能力や良識・適正	3.79
IV 研修と研究	3.21

自己点検 分析表



平成30年度から、「幼稚園教育要領」が改訂され施行されたことに伴い、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」が明確化されました。そのため今回の自己評価は、新しい幼児教育要領に対する対応の在り方と近年問われている優秀な人材確保に向けての指針となるような情報を得たいという観点から、評価の項目や内容を編集しました。

I 「保育の計画性」についての検証結果及び改善策

- ・ねらいや指導計画を明確にしていくことを意識する
- ・個々に育ちがあるような保育
- ・1日の保育の振り返りと反省
- ・季節に応じた壁面の作成
- ・他の教諭とも相談する、質問する。
- ・臨機応変な対応も必要。
- ・どの行事も本番に間に合い順調だった。
- ・教育要領を意識しながらの保育は、行事やカリキュラムに追われてしまい難しかった。
- ・新教育要領と園の教育目標を照らし合わせながら考える。
- ・年齢に応じた育てたい力を意識して保育を構成する。
- ・子どもが主体的に目標や課題を達成できるようにする。

II 「保育の在り方、幼児への対応」についての検証結果及び改善策

- ・子どもの内面まで見て関わられるようになる、寄り添うようにする、信頼関係を築けるようにする。
- ・一人ひとりに耳を向け、様々な現れや行動の背景を考察する、多面的にとらえる力を養いたい。
- ・教育者であることを自覚して何事も取り組む。
- ・子どもの些細な違和感にも疑問を持つ、見逃さないようにする。
- ・年少組は個人差が大きいため、より個々への気配りが大切。
- ・保育に新しい取り組みを入れていった。
- ・急いでるときなどでも、心に余裕をもちゆっくり接することができるようにしたい。
- ・異年齢交流の機会が少なかった為、計画を立てて交流するようにしたい。
- ・自分の保育観に加えて、臨機応変さや、他教諭との連携を図りながら行動する。

III 「教師としての資質や能力・良識・適性」についての検証結果及び改善策

- ・マナーやモラルのある教師になる、園児が模倣してもいい教師になる。
- ・業務の効率化
- ・教諭同士の連携
- ・保育者自身が遊びを楽しむ。
- ・子供たちにとって幼稚園が楽しいと思えるようにしたい。
- ・保育に生かせそうな情報は積極的に調べた。
- ・問題ある子どもの対応の仕方など、丁寧に話し合いをする場を設けられるとよかった。

IV 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

- ・コロナで今年はほとんどできなかったため、来年度は研修と研究に取り組みたい。
- ・発達支援や障がい児保育についての研修があれば参加してみたい。
- ・モンテッソーリについてまだ分からないことが多い。
- ・夏のモンテッソーリの研修は知識技能の向上につながったと感じるため、今後も続けたい。
- ・良い情報があれば常に学ぶようにした。
- ・インターネットや本など様々な手段で情報収集をしたい。
- ・各年齢の発達段階や内面の育ちについても正しい知識を身に付け、学びを深めたい。
- ・研修の場で学んだことを実践に活かしていくことも積極的に行いたい。

令和 2 年度 自己評価書（設置者・園長編）

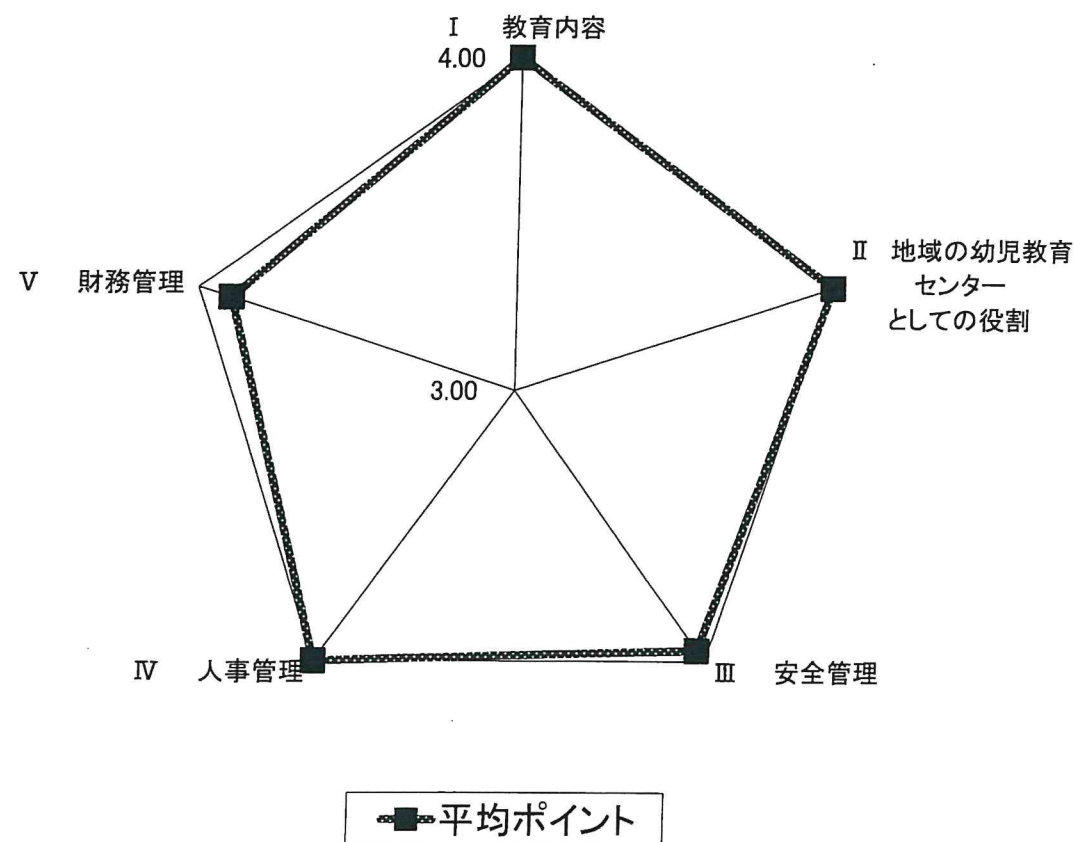
法人名・幼稚園名など 学校法人篠木学園

自己点検（設置者・園長編）分析表

法人名 学校法人篠木学園 職名 園長・設置者 平均

カテゴリー名	平均ポイント
I 教育内容	4.00
II 地域の幼児教育センターとしての役割	4.00
III 安全管理	3.96
IV 人事管理	4.00
V 財務管理	3.90

自己点検 分析表



I 「教育内容」についての検証結果及び改善策

令和3年度からは、三島市の私学助成の幼稚園が桜ヶ丘幼稚園だけになってしまうことは、今後の幼稚園の在り方に大きな影響を与えるのかもしれない。確かに時代の流れとして女性の就労や育児期間の短縮がある事はあるが、こういう時代でも、5歳時までの心身の基礎ができる期間は8時から17時半までの就労で、こどもと関わる時間を確保したいというニーズは必ずあると感じている。桜ヶ丘幼稚園は、保育ではなく質の高い幼児教育を望む保護者の受け皿として、子供一人一人の個性と能力を育てる幼児教育の場として、これからもあり続けたい。今年はコロナ禍の影響もあり、十分な教職員の勉強会が出来なかった。次年

II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての検証結果及び改善策

例年、4月から6月までの期間、幼児教育に関心のある保護者や、子育てについて関心や疑問がある保護者に対して、電話で相談を受けたり、園内見学時に相談に乗ったりしている。在園児の保護者に対しては、いつでも担任や園長が相談に応じる体制になっている。今後も、地域の方が気軽に相談できる機関として、受け入れ窓口をオープンにしていく所存である。

III 「安全管理」についての検証結果及び改善策

桜ヶ丘幼稚園は、10年前の3.11を機に、本格的に安心安全な園舎をという事で移転してきた幼稚園なので、定期的な避難訓練、防犯教室、交通安全教室、防火教室などを開いている。警察訪問、消防署訪問を通じて、地域の安全を守ってくれている人々の存在を自覚し、被害者にならないだけではなく、地域の安心安全に貢献できる人間になることを、子どもたちには話している。非常時には、子どもたちがパニックを起こしたり勝手に行動して二次災害に巻き込まれることが懸念されるが、当幼稚園の子どもたちは、常日頃からきちんと大人の話聞き、友だちと協力していく事を教えられているので、二次災害の可能性がより低いのかなと

IV 「人事管理」についての検証結果及び改善策

令和2年度は、産休育休が常勤で2名、非常勤で1名と、とても変動が大きかったが、職員同士思いやりを持って助け合って、いい形で引継が出来たと思う。女性が多い職場は、結婚や出産と言ったライフサイクル上の出来事で、大きく変化があるのは仕方がない。桜ヶ丘幼稚園も、新園舎に移転してから、女性が仕事を続けやすい仕組み作りに取り組んできた。今後も優秀な人材がずっと仕事を続けて行きやすい環境を、しっかりと作っていききたい。

V 「財務管理」についての検証結果及び改善策

現在、無償化の事務を事務担当者がきちんとこなしてくれているし、税理士、公認会計士などの連携も取れていると思う。令和2年度の実態調査もそうだが、財務乖離について指摘や指導を受けたことは移転してから全くないので、とても健全な財務管理になっていると思っている。これからも透明性のある財務管理を行い、学校法人のより良い発展に努めたい。

「財務分析」についての検証結果及び改善策

本年度は、園庭や園舎の修繕の必要性が出て、予備費の範囲を超えてしまったので補正予算を組むこととなった。今後は今まで以上に修繕費がかかってくるのが予想されるので、多めに予算組をしたいと思った。保育料無償化が始まり、幼稚園の無償化の単価が25,000円と認定された。今後、保育料無償化の単価が上がれば、その分、給与に反映させて、より質の高い職員が採用できる環境作りをしていきたい。